

平成27年度事業報告書

公益社団法人 横浜歴史資産調査会

1. 平成27年度事業の概要

歴史を生かしたまちづくりにたいせつな歴史的資産を都市計画の視点から戦略的に調査、保全・活用を開始してから28年が経過しました。本年も歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を生かした魅力溢れるまちづくりに向けて歴史的資産の保全・活用を目指した調査研究等を積極的に実施いたしました。

さらに「歴史を生かしたまちづくり」を推進するために、広く市民や専門家を対象にセミナーや講演、シンポジウム等を開催いたしました。

また、併せて「歴史を生かしたまちづくり」を円滑に行うための普及啓発、人材育成をより広く推進するものであります。

平成27年度において実施した具体的な事業は以下のとおりです。

2. 歴史を生かしたまちづくり推進事業（公益目的事業）

（1）歴史的建造物保全・活用計画関連調査等

（ア）歴史的建造物保全・活用関連調査

歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を保全・活用するため16件の調査を実施いたしました。

この調査は、現地での歴史的資産の現状把握及び所有者へのヒアリング、文献調査、写真撮影、地図へのプロット等の作業を実施いたしました。

調査結果は、当調査会の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり推進事業」の内容に活用するとともに、具体的な歴史的建造物保全・活用するために役立てることといたしました。

<現況調査>

- ① 北村家土蔵（磯子区）
- ② 旧金子家住宅主屋（戸塚区）
- ③ 旧藤本家主屋及び茶室（鶴見区）
- ④ 旧横浜松坂屋西館（中区）
- ⑤ 横浜山手聖公会（中区）
- ⑥ 関東学院中学校（南区）
- ⑦ 不二門家住宅（南区）
- ⑧ 新和産業上大岡捺染工場（港南区）
- ⑨ 保土ヶ谷カトリック教会（保土ヶ谷区）

<登録及び認定歴史的建造物候補対象の調査>

- ① 田邊家住宅・日吉の森庭園美術館（港北区）
- ② いたち川河川隧道（栄区）
- ③ 森永製菓伊勢佐木町ビル（中区）

<歴史的建造物に関する保全・活用計画案の策定又は変更案の作成>

- ① 横浜海岸教会「変更」（中区）
- ② 旧横浜生糸検査所附属生糸絹織物専用B号及びC号倉庫「変更」
- ③ 旧円通寺客殿（旧木村家住宅）「保全活用計画策定」（金沢区）
- ④ 田邊家住宅・日吉の森庭園美術館「策定」（港北区）

(イ) 歴史を生かしたまちづくりファンド活用制度検討
歴史的建造物の内部のリノベーションに関する助成の検討
専門家委員によるワーキングを行いました。

(ウ) 歴史を生かしたまちづくり市民相談室の実施
歴史を生かしたまちづくり推進事業を円滑に進めるために、より
広く市民等から関連の情報を集める相談室を開設いたしました。
年度末までに3件の相談が寄せられ、当調査会、横浜市の担当部
署と定例会議を開催し、その対応を検討し、専門家等の協力のも
と、調査を実施しました。修理や保全・活用に向けた具体的なア
ドバイスを行うなど成果が生まれています。

- ・ 捺染工場保存に向けてのヒアリング調査 (港南区上大岡)
- ・ 森永製菓伊勢佐木町ビル保存に向けてのヒアリング調査
(中区伊勢佐木町)
- ・ 井上良斎の登り窯保存に向けてのヒアリング調査
(南区井土ヶ谷)

(エ) 横浜市内鉄道遺産調査
以前から行っている市内の鉄道遺産に関し港湾部を中心とした現
況調査を専門家等によって行いました。
結果として橋梁、築堤、石積み等を調査し「港、鉄道、ヨコハマ」
の関連性を確認しました。

(2) 普及啓発、人材育成事業

(ア) 自主企画セミナー、シンポジウム (自主事業)
歴史を生かしたまちづくりを推進するためには市民、専門家、
企業の理解や参加が大切です。歴史的資産の保全・活用のため
の普及啓発を目的としたセミナー、シンポジウム等を以下のと
おり開催いたしました。

- ① 「歴史を生かしたまちづくりファンド」スタート記念コンサート
平成27年9月29日 (水) 横浜市開港記念会館 講堂
参加者130名

後藤 泉 (ピアノ)

クリストフ・エーレンフェルナー (ヴァイオリン)

ヘルベルト・ミュラー (ヴィオラ)

(イ) 歴史を生かしたまちづくりセミナー他 (受託事業)

歴史的資産の保全・活用に関して市民、専門家、企業等からの理解や協力、支援を目指し、横浜市都市整備局他からの受託事業としてセミナー等を開催の他、「歴史を生かしたまちづくり横濱新聞」第31号を編集いたしました。

① 第38回 歴史を生かしたまちづくりセミナー

「みんなで支える明日の歴史を生かしたまちづくり」

—もう壊さない 歴史的建造物は横浜の宝—

平成27年6月27日(水) 18時30～20時30分

横浜市開港記念会館 講堂 参加者130名

講師 後藤 治 (工学院大教授)

パネリスト 鈴木智恵子 (エッセイスト) ほか

② 「歴史を生かしたまちづくり横濱新聞」第31号の編集

A3版4ページ カラー 4,000部

③ 「よこはまサンクスポート in 大さん橋2015」

平成27年8月22日(土) 23日(日) 11時～17時

横浜大さん橋国際旅客船ターミナル

「よこはま港の歴史展示とミニ講演会」の開催

④ 「港、鉄道、ヨコハマ」プロジェクト

—鉄道がつなぐ横浜の歴史と文化—

平成27年3月16日(水) 19時～21時

横浜市開港記念会館 講堂 参加者120名

講演 小野田 滋 (公財) 鉄道総合技術研究所フェロー)

パネリスト 花上嘉成 (一財) 東武博物館名誉館長 ほか

港湾システムの中に港、鉄道、倉庫等が含まれ、機能しています。

中でも忘れられがちな鉄道に文化財の視点からスポットをあてました。

⑤ ヨコハマヘリテイジブックレット-2

「港—鉄道—ヨコハマ」の発行 A6版16ページ カラー

1,000部

3. その他収益事業等の概要

(1) 収益事業

平成27年度においては、収益事業として刊行物の販売を行いました。

◎都市の記憶—横浜の主要歴史的建造物	341冊
◎都市の記憶—横浜の土木遺産	40冊
◎横濱の歴史を生かしたまちづくり 25周年記念誌	10冊
*ヘリテイジカード付	

(2) その他の事業

・支援体制（会員事業）

当調査会の事業の益々の発展を目的に継続的な支援を得るために賛助会員、団体会員、ヨコハマヘリテイジサポートクラブを幅広く会員募集を行いました。

併せて、会員向け情報誌として、季刊「ヘリテイジ スタイル」を発行いたしました。